

2025 年 11 月 1 日

第 14 回 原子力友の会 総会（ハイブリッド方式）

2011 年 11 月に発足いたしました原子力友の会は、今年度 14 年目となります。原子力安全工学科の卒業生は 1 期生が 2012 年 3 月に卒業して以降、着実に増えてきています。原子力友の会は、卒業生同士だけでなく、学生や教職員、そして、母校・東京都市大学／武蔵工業大学との架け橋としての役割を今後も果たしていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

日 時：2025 年 11 月 1 日（土）16：00～18：00（15：30 開場）

場 所：世田谷キャンパス 10 号館 5 階 原子力安全工学科学生実験室
Zoom ミーティングルーム

式次第：

開会のあいさつ： 副会長 泉 正憲

前回議事録の確認

1. 前回総会以降の主な出来事（活動報告）
2. 「原子力友の会賞」について
3. 会計報告
4. 活動計画／予算計画
5. 学生・院生への活動支援策について
6. JABEE 認定とご助言のお願い

原子力安全工学科 主任教授のあいさつ： 牟田 仁 先生

講演会（講演 20 分 + 質疑 10 分）

「 ガンマ線イメージング研究 」

放射線計測研究室 河原林 順 先生

「 学生時代の失敗が教えてくれたこと ～廃炉の現場から～ 」

高崎 史晟 さん

（東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力機械システム設計部）

2020 年 3 月（令和 2 年 3 月）

放射線計測研究室（指導教授：河原林先生）

「 閃源会の活動報告 」

閃源会 運営メンバーの代表学生

閉会

1. 2024 年度以降の主な出来事（活動報告） ※太字は原子力友の会に関わるイベント

2024 年 11 月 2 日(土) 第 13 回 原子力友の会 総会・講演会@ハイブリッド

2025 年 2 月 3 日(月)～4 日(火) 福島第一原子力発電所見学会（旅費支援）

2025 年 2 月 7 日(金) 修論発表会

2025 年 2 月 14 日(金) 卒論発表会

原子力友の会賞の審査（教員に依頼）を実施しました。

2025 年 3 月 19 日(水) 学位授与式

原子力友の会賞を 7 名に授与、卒業生 37 名に記念品
贈呈しました。

2025 年 4 月 2 日(水) 入学式

2025 年 4 月 5 日(土) 春の懇談会@王禅寺

2025 年 4 月 9 日(水) フレッシュヤーズキャンプ（電中研へ日帰り）

2025 年 6 月 14 日(土) 福島第一原子力発電所見学会・報告会

2025 年 11 月 1 日(土) 第 14 回 原子力友の会 総会・講演会@ハイブリッド

※以下のホームページ等にも近況が掲載されていますので是非ご覧ください。

- 校友会会報「都市」12 号（2025 年 3 月発行）
https://tcu-alumni.jp/journal_toshi/vol12/book.pdf
- 原子力友の会 <https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html>
- 東京都市大学 原子力研究所 <https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
- 東京都市大学 原子力安全工学科 <https://www.nuc.tcu.ac.jp/>
- 東京都市大学 校友会 <https://tcu-alumni.jp/>

2. 「原子力友の会賞」について

- 2012 年度より卒論発表会にて原子力安全工学科の教員による審査を行い、優秀な発表をした者へ学位授与式において「原子力友の会賞」を授与してきました。
- 毎年、総会において贈呈人数を決定してきました。2012 年度～2014 年度は 3 名、2015 年度以降は 6 名へ授与することとしてきました。
- 2019 年度は、審査の結果 8 名が選出されたため、幹事会にてメール審議した結果 8 名へ授与することとしました。
- 2020 年度以降は、毎回 6 名が選出されてきています。
- 2024 年度は、審査の結果 7 名が選出されたため、幹事会にて審議した結果 7 名へ授与することとしました。
- 2025 年度も同様に実施することを予定しています。審査の結果により件数が増える状況となった場合には、幹事会でのメール審議により決定することとします。発表の審査は、従来通り、原子力安全工学科の教員に依頼します。
- 歴代の授賞者リストを示します。（添付資料（2）受賞者一覧 参照）

3. 会計報告

2024 年度の会計報告は別添資料（添付資料（3）会計報告）に示すとおりです。

監査の萩原氏には確認を頂いております。

4. 活動計画／予算計画

2025 年 12 月 放射線取扱主任者試験合格者への補助（現時点で、1 種：1 名、2 種：1 名）

2026 年 2 月～3 月 閃源会主催の見学会イベント（詳細計画中）（旅費支援予定）

2026 年 2 月 卒論発表会における原子力友の会賞の審査（教員に依頼）

2026 年 3 月 19 日 学位授与式

〔学部卒業生対象〕原子力友の会賞並びに記念品の贈呈

〔大学院修了生対象〕アクティビティ賞の贈呈

2026 年 4 月 4 日 王禅寺キャンパスにて花見会

2026 年 10 月 31 日 第 15 回総会・講演会（世田谷祭に合わせて）

- 例年通り、「原子力友の会賞」および「卒業記念品」に関する支出を計画しています。また、学生の活動支援（放射線取扱主任者試験合格者に対する受験料補助、施設見学等のイベント費用の一部補助）および大学院生のアクティビティ賞の補助を予定しています。
- 活動計画には大まかな予定のみを記載しておりますが、必要に応じて幹事会にて検討し、運営を進めてまいりますので、ご一任のほどよろしくお願いいたします。

5. 学生・院生への活動支援策について

6. 原子力安全工学科の JABEE 認定とご助言のお願い（学科から）

現在、本学では、学部教育の質を保証するという観点で、第三者による評価を受け改善していくことが求められています。工学系の学科では JABEE（一般社団法人日本技術者教育認定機構）認定を取得することが強く推奨され、原子力安全工学科では 2016 年度入学生以降の学生が JABEE 認定コースの対象として、卒業と同時に JABEE コースを修了したと認められる状態になっています。学科では、これを機に教育プログラムを改めて整理し、PDCA サイクルを回した継続的な改善を始めていくきっかけになったと受け止めています。

学修要覧という学科が行う教育の基本方針を定めた文書の中で「目指す技術者像」を示しています。この記載は学修要覧を毎年改訂する中で、社会の変化に合わせて適時適切に見直していくことが必要であると考えています。そのために学科として数年に一度、外部の有識者の先生方による評価を受け、ご意見を伺っています。そうした取り組みとは別に、本学卒業生の会である原子力友の会の皆さまからのご助言を頂きたいをお願いする次第です。その時々の社会情勢を踏まえて、どのようなスキルとマインドを持った人を社会に送り出すべきかといったことについてご意見を伺えると幸いです。

【問合せ先】

原子力友の会 事務局（東京都市大学 原子力研究所内）

原研代表番号：044-966-6131

原研 FAX 番号：044-955-6071

メール連絡先（以下の[at]は@を意味します）

内山孝文 tuchi[at]tcu.ac.jp

羽倉尚人 nhagura[at]tcu.ac.jp

以上

添付資料

- (1) 前回議事録（案） [当日投影のみ]
- (2) 歴代の原子力友の会賞受賞者一覧
- (3) 会計報告 [当日投影のみ]
- (4) 会則 [当日投影のみ]
- (5) 最近のキャンパスの様子を紹介する動画のリンク集

(2) 原子力友の会賞（第 1 回～第 13 回） 受賞者一覧

2012 年度（発表件数：39 件）	
中町 鴻	川崎大気粒子状物質における福島原発事故由来の放射性セシウムの長期影響
三原 裕貴	受動安全の強化を目指した炉内新型注水技術の開発
山岸 昇平	構造物振動を利用した発電手法に関する研究（積層型ピエゾ素子の振動発電特性の評価）
2013 年度（発表件数：50 件）	
大久 保健	トリウム燃料を用いた PWR の燃焼特性改善に関する研究
四宮 権一	α 線を利用した NO _x 除去に関する研究
唯野 誠哲	三次元汚染空間における線量評価手法に関する森林モデルの開発
2014 年度（発表件数：42 件）	
佐藤 嘉晃	小型軽量炉心型原子力推進ロケットシステムの核熱特性とノズル設計に関する研究
飯村 駿介	固相抽出法による放射性ストロンチウム分析
須藤 航太	原子力施設における機器三次元免震に関する研究
2015 年度（発表件数：39 件）	
今村 康平	積層型免震装置の終局段階の力学的特性に関する研究
内田 紗椰	粒子線治療の深部線量分布改善のための軽・重粒子線の比較検討
瓜谷 宥紀	内部発熱を伴う球の周りの熱伝達に関する基礎研究
大川 佳祐	ABWR の格納容器破損シナリオに対する緩和操作タイミングの影響に関する検討
小出 純平	共鳴吸収領域でのパルス中性子イメージングにおける高空間分解能化
佐藤 瞬	X 線吸収微細構造による抽出剤に吸着された希土類元素の評価
2016 年度（発表件数：37 件）	
江森 達也	ジルカロイ再生を目的とした塩化物浴中における Zr の電気化学
田治見 祐里	V を含む溶融ホウケイ酸ガラス中の模擬廃棄物の局所的な構造－アルカリ含有率の効果
辻 晃慶	2030 年度の原子力発電比率目標を達成・維持するための軽水炉・高速炉導入シナリオ検討
中田 裕	PWR の 1 次系シースルーモデルの試作によるフィードアンドブリードの研究
仲野 智	Na 冷却高速炉における CDA 時再臨界を回避する炉心形状の検討
中村 建翔	モリブデンを含むフッ化リチウム溶融塩に酸素が与える影響
2017 年度（発表件数：32 件）	
大谷 知世	コアキャッチャを用いた燃料デブリ冷却システムの研究
高崎 史晟	化合物半導体検出器を用いたデジタル計測システムにおける高計数率対応のための基礎研究
仲村 宗真	高燃焼度化のための円錐台 CANDU 炉心
持丸 貴則	自然循環 Na 冷却金属燃料小型高速炉の核解析
森川 徹	福島第一原発の燃料デブリにおける「回収時に落下した際の臨界性と堆積角度の関係」及び「残留核分裂生成物の放射能と放出時化学系」に関する研究
渡邊 達也	APD を用いたエネルギー分散型 PIXE 分析用 X 線検出器の基礎研究
2018 年度（発表件数：36 件）	
長澤 巧弥	溶融 CaCl ₂ -LiCl を用いた燃料デブリ中 Zr の電気化学的回収

木下昂亮	水銀を可燃性毒物として用いる BWR の核特性
武藤大紀	共沈法を用いた多摩川河川水における放射性セシウムの定量
村山公仁	サブレーションプールにおける FP 捕獲挙動に関する基礎研究
横山諒	損傷炉心物質の共晶熔融と流動性に関する実験的研究
若菜志保	リーチスルー型 APD を用いた低エネルギー X 線検出器の開発
2019 年度（発表件数：32 件）	
池田和	Deep learning を使用した応答スペクトルの減衰補正
榎本重亮	非スプレイ領域における格納容器内エアロゾル状 FP の挙動に関する検討
舘野遥青	地震 PRA における応答相関に関する検討
新田旭	重点推進研究における FP の有効利用に関する研究－白色金属析出物の冶金学的観察－
原田龍	地震・津波の重畳を考慮した確率論的安全性評価手法の基礎的研究
本多栄輝	損傷炉心から落下した熔融燃料の拡がり挙動に関する基礎実験と数値解析
山田優輝	地震津波を考慮した確率論的リスク評価手法の実機適用性に関する検討
寺山翔大	地震リスク評価における乱数生成法の開発
2020 年度（発表件数：37 件）	
長谷川京吾	遠心力による自然循環冷却型宇宙電源用小型原子炉の概念設計
木村優斗	金属燃料を用いた長寿命型高中性子束照射炉の概念設計
小峰諒	積層ゴム免震要素の終局特性を考慮した地震リスク評価に関する研究
佐々木怜央	PIGE への CdTe 半導体検出器の応用研究
増子元海	重点推進研究における核分裂生成物の有効利用に関する研究－合金への水素吸蔵評価法の検討－
杉浦友哉	圧力抑制プールの水面近傍におけるエアロゾル FP の挙動に関する研究
2021 年度（発表件数：44 件）	
小幡歩夢	医用 RI 自給に向けた燃料デブリと発電用 BWR の活用
工藤仁美	原子力施設の設計を超過する地震道に対するスロッシング挙動の数値シミュレーションに関する研究
樽見直樹	燃料デブリ収納管での水素低減を目的とした触媒開発－模擬白金族合金の熱力学的安定性評価及び基本的性能の検討－
近松優真	荷電粒子誘起発光を用いた分析手法の基礎検討
福江さくら	STAMP/STPA に基づく要素間相互作用を考慮した住民避難多層レイヤーモデルの構築
箕輪一希	アルキルジアミドアミン吸着材中希土類の局所構造解析
2022 年度（発表件数：42 件）	
吉田翔牙	浮体免震の性能評価に向けた試験手法の検討
橋本ゆうき	高レベル放射性廃棄物地層処分にに向けたリスクコミュニケーション手法に関する研究
大川友悠馬	同径 T 配管の弾塑性有限要素解析に用いる三次元 CAD モデリング手法の比較検討
小川大地	一様性と独立性を満たした乱数生成法の複雑システム解析への適用検討
大石愛莉	矩形水槽のスロッシング抑制構造に関する実験的研究
大岩祐毅	高レベル放射性廃棄物中の不溶解残渣（白金族合金）における 酸化・蒸発挙動の酸素分圧依存性評価

2023 年度（発表件数：45 件）	
杉崎麻子	FP の有効利用に関する検討 ―第一原理計算を用いた白金族合金の触媒機能評価―
前島令奈	都市大タンデムにおける液体試料の分析を可能とする大気ビームライン構築、測定、および評価
渡辺杏	商用軽水炉を用いた Lu-177 の大量製造の実施可能性
生頼政宏	原子力発電所の応答相関に与える建屋及び機器の非線形性の影響
小林亮斗	重要度指標評価の高精度化・高速化に関する研究
吉川将志	ウラン回収を目的としたドライイーストの有効利用に関する研究
2024 年度（発表件数：37 件）	
久能諒	時間経過を考慮した地震津波重畳事象のリスク評価に関する基礎的研究
片桐悠汰	荷電粒子誘起発光を用いた化学状態分析に向けた基礎検討
加藤瑞希	ガラス固化プロセスにおける熔融ガラス中白金族合金の挙動解明
横井悠輝	乾式再処理研究における使用済み塩を対象とした熔融塩沈殿法による鉄の分離可能性の検討
通傳響真	小型軽水炉用の金属 Sphere-Pac 燃料の開発 ―球状金属粒子間の熱伝達の模擬と検証―
増本蒼	細径金属燃料ピンを用いた高フラックス高速照射炉の概念設計
宗像大真	模擬熔融燃料の流路内における凝固挙動の検討

(5) 最近のキャンパスの様子を動画で紹介

東京都市大学 創立 90 周年記念ムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=o3UrQO8eZsg>

世田谷キャンパスの約 3 分の 1 をリニューアルー東京都市大学キャンパス再整備事業ー

<https://www.youtube.com/watch?v=SzOyJwTWGWk>

【東京都市大学】ゲームチェンジ時代を切り拓く ひらめき「探究」プログラムを紹介します！

<https://www.youtube.com/watch?v=WNJibxtexU8>

【東京都市大学】未来がつながっていくよ！ ひらめき「探究」プログラムで実現できること！

https://www.youtube.com/watch?v=QKNxNSa_cLg